

6/15	5:00 KICK OFF	FIFA ランキング 8
NHK 総合	vs. オランダ	米・ダラス
21	13:00 KICK OFF	FIFA ランキング 46
NHK 総合	vs. チュニジア	メキシコ・モンテレイ
26	8:00 KICK OFF	FIFA ランキング 38
NHK 総合	vs. スウェーデン	米・ダラス

※6月11日時点 日時は日本時間



◆長友 佑都 (ながとも・ゆうと) 平21政経卒。1986年9月12日生まれ。愛媛県出身。東福岡高から一般入部生として明大サッカー部に入部すると3年時に退部し、FC東京でプロ入りを果たす。豊富な運動量と両足から放たれる正確なクロスでアシストを量産し11年にはイタリアの名門・インテルに移籍。世界の最前線で活躍した。21年には古巣のFC東京へ帰還し、チームをけん引。日本代表では歴代2位の145試合(6月11日現在)に出場している。背番号は5。

W杯前最後の強化試合・アイスランド戦に出場した長友。提供：スポーツニッポン新聞社



明大時代の長友

◆日本代表記録◆

位置	名前	W杯出場数	代表試合出場数
DF	長友 佑都	5	145
GK	川口 能活	4	116
GK	川島 永嗣	4	95
GK	権崎 正剛	4	77
MF	遠藤 保仁	3	152

※W杯出場数3回は他9大6月11日現在

愛媛県西条市出身
長友佑都
私たちは応援しています

明治大学校友会愛媛県支部

同期・林陵平が語る長友
長友の第一印象を「ただの坊主だったが、キャラは濃かった」と振り返る。今でこそ日本代表を引っ張る立場の長友だが、1年時にはベンチメンバーから外れ、スタンドで太鼓をたたいた経験も。だが当時から「誰よりもスピードがあって、フィジカル能力もバケモノだった」。さらに「パッションがすごくてメンタリティにも磨きがかかっていた」と大学を通して今の姿に形づくられていった。大学卒業後も2人は食事に行く間柄だ。代表選出後も「おめでとう」と言ったら『やってくるよ、W杯。また現地で会おう』と送ってきた。学生時代に切磋琢磨(せっさたくま)し合った長友へ「メンバーに入るとは思ってない、日本の精神的支柱になる」と期待を寄せる。選手、解説者それぞれの立場で日本を盛り上げる。

会見コメントは「アモーレ」や「ブラボー」といった言葉を流し、日本のムードメーカーとして大きく取り上げた。

「魂を持って、日本だけじゃなく世界を巻き込んで戦っていくので、見てください」。長友らしい力強い言葉で「己を、そして日本代表を奮い立たせる」「優勝して、僕の集大成を最高の形で終えたい」。長友の熱い言葉が耳を打つ。先は世界の頂点だ。まだ見ぬ最高の景色を、追い求めて、新たな挑戦が始まる。

【早坂春佑】

感謝1000% 20年間の集大成で目指すW杯制覇

度目

「アモーレ」や「ブラボー」といった言葉を流し、日本のムードメーカーとして大きく取り上げた。

「魂を持って、日本だけじゃなく世界を巻き込んで戦っていくので、見てください」。長友らしい力強い言葉で「己を、そして日本代表を奮い立たせる」「優勝して、僕の集大成を最高の形で終えたい」。長友の熱い言葉が耳を打つ。先は世界の頂点だ。まだ見ぬ最高の景色を、追い求めて、新たな挑戦が始まる。

2010 南アフリカ大会
GS: 2勝1敗 2位
結果: ハスト 16
初出場ながら4試合フル出場を果たし、第1戦・カメルーン戦、第2戦・オランダ戦でも2得点のトップスコアを記録した。日本は母国開催以外で初のGS優勝を決めた。

2014 ブラジル大会
GS: 2敗1分 4位
結果: GS 敗退
セリエAの名門・インテル所属の長友は持ち前の運動量でチームをけん引。日本はGS第3戦・コロンビア戦で1-4の大敗を喫し2大会ぶりのGS敗退となった。

2018 ロシア大会
GS: 1勝1敗1分 2位
結果: ハスト 16
「スーパーサイヤ人になってチームを救いたい」と空気で臨んだ。GS第2戦・セネガル戦では長友がアシストを記録。日本は「ロストの14秒」によって敗退した。

2022 カタール大会
GS: 2勝1敗 1位
結果: ハスト 16
藍色の日の丸をモチーフの赤。日本は、強豪のドイツ、スペインを倒す大金星を挙げた。この快進撃に沸き出した長友の「フラーホー」が日本代表を熱狂、22年。

代表メンバー発表時に森保一監督の口から名前を呼ばれ、目に涙を浮かべた。この時の涙の理由を問われると「今まで支えてくれた人の顔が走馬灯のように出てきて、感情的になった」と笑みをこぼしながら答えた。また、W杯メンバー選出により5度目の出場となることについては「アジア初の5度目のW杯」というのは感謝と誇りはあっても「W杯で優勝しない」とも残さない。彼の力強い一言が場の空気を変えた。

「次のW杯を目指すと言った人多くの人が笑われた。でもその信念を曲げずに今日までやってきた。前回のカタール大会での代表引退がささやかれた中で、長友は大会後すぐに4年後のW杯北中米大会への参加意思を表明。そこから、キリンチャレンジャーカップ2025や国際親善試合で日本代表に名を連ねたが、今年の3月にはハムストリングのケガにより戦線離脱を余儀なくされた。だが、ここで諦めるほどの信念は弱くなかった。焦り不安の中で地道なトレーニングを重ねるとわずかに2カ月で実戦復帰。驚異的な回復力を見せ、万全なコンディションをアピールしてあげた。

「今回は優勝するだけの質を持っているし、チーム力も持っている」。0勝に終わったW杯ブラジル大会から12年が経ち、FIFAランキングでは、44位から18位に浮上り大きな飛躍を遂げている。特に、昨年の10月にはW杯優勝数最多5回を誇るブラジルに史上初の勝利を挙げた。今年に入ってもFIFAランキング4位(6月11日現在)のイングランドに勝利と、W杯優勝は決して夢物語ではなく現実化している。だからこそ「W杯優勝」という言葉は、チームメイトや森保さんたちのスタッフの方々も本気で狙っているからこそ心の底から出てくる言葉」と語気を強めた。

「飛躍への出発点」
会見では長友にしかできないことを聞かれ、力強くこう答えた。「チームの空気が悪いと空気清浄機のようにきれいな空気になって、自分のエネルギーでチームを前に向かせられる。その言葉は彼の経験からきたものだ。今でこそ、メンタルモンスター級の異名を持つ長友だが、今に至るまでに大きな挫折を味わった過去がある。それは、2014年に行われたW杯ブラジル大会。日本代表は2敗1分でのグループステージ敗退となった。当時を振り返り「1戦目に負けてからチームの士気が下がって、自分自身も不安になっていた。また「選手も質はあったが、優勝するだけの実力は日本代表になかった」と断言。

早川 友基 HAYAKAWA TOMOKI

長友 佑都 NAGATOMO YUTO

明治発、世界へ

駿台蹴友会会長 田中喜生